

希望の衣服、販売員も提案

販促支援のスタイラー（東京・渋谷、小関翼社長）はスマートフォン向けアプリで、店舗の販売員と消費者の交流機能を強化した。同社は探している衣服の希望を書き込むと店舗から提案が受けられるサービスを運営している。従来は店舗単位で提案をしていたが、販売員がそれぞれ個別に提案できるようにする。また店舗がイベント情報を発信できるようにする。消費者が実店舗に足を運びやすくし、店舗での接客もネットの情報を活用してより円滑に行えるようにする。

地方と提携、第1弾は熊本

クラウドファンディングサイトを運営するCAMPFIRE（東京・渋谷、家入一真社長）は地域に特化したサービスに乗り出した。地方の団体と提携し、彼らが主体となってプロジェクトを立ち上げたい人を支援できる体制を整える。現地できめ細やかに支援するとともに、プロジェクトを立ち上げたい人を発掘する。第1弾として熊本県の2団体と提携し、全国への展開を始める。

売掛金消し込み作業を自動化

クラウド会計のfreee（東京・品川、佐々木大輔社長）はジャパンネット銀行と提携し、売掛金の消し込み作業を自動化する機能を追加した。一般的に、消し込みをするには、売掛金と実際の入金をつきあわせる必要がある。このたびの提携でジャパンネット銀行の「ワンタイム口座」という機能を活用し、自動で入金と売掛金を照合できるようにする。

空色、チャット通じ接客

ウェブサイトによる集客支援を手掛ける空色（東京・品川、中嶋洋巳社長）はセレクトショップを運営するアーバンリサーチ（大阪市、竹村幸造社長）向けにチャットを通じた接客の運用を始めた。同社の電子商取引（EC）サイトの来訪者に対し専門ノウハウを持った空色のスタッフがリアルタイムで接客を行い、消費者の購入意欲を刺激する。EC向け売上高の拡大を支援する狙いだ。

学生向けプログラミング講座

プログラミング学習のコードキャンプ（東京・新宿、池田洋宣社長）は、6月に大学生・就活生専用のプログラミング学習講座を開講する。IT（情報技術）業界への就職を目的とする学生らが2カ月でプログラミングの基礎を習得できるようにする。プログラミングとともに就活対策の講座も提供する。価格は週3回の通学で7万8000円。

スマホケース、1個から製作

ウェブマーケティング支援のベーシック（東京・千代田、秋山勝社長）は、KDDI（au）が夏モデルとして発売するスマートフォン（スマホ）向けに、オリジナル印刷のスマホケースを1個から製作するサービスを始めた。オリジナル印刷を自社の広告戦略として使いたいイベント関連業者やアパレル業者の利用を見込む。1個あたり税抜き1800円から発注できるという。

資金調達

新サービス開発などで20万ドル

日本への留学情報サイトを手掛けるST Booking（東京・渋谷、森川照太社長）はシンガポールのベンチャーキャピタルBEENEXTなど2社を引受先とする第三者割当増資で20万ドル（約2200万円）を調達した。同社は海外の留学エージェントを通じて、学生を国内の教育機関に紹介する事業を展開している。調達資金は新規サービス開発や、東南アジアでの留学エージェント開拓のための営業費などに充てる。

インフォメーション

一般社団法人、太陽経済の会（東京・千代田、山崎養世代表理事）は29日、「新電力による高度ITエネルギーマネジメント戦略」と題したセミナーを開く。太陽光発電など再生可能エネルギーを効率良く活用するために必要な技術について学ぶ。会場は赤坂ガーデンシティ（東京・港）で、定員は50人。事前申し込みが必要で、一般の会費は3千円。エネルギーやIT関係の経営者や投資家の来場を見込む。